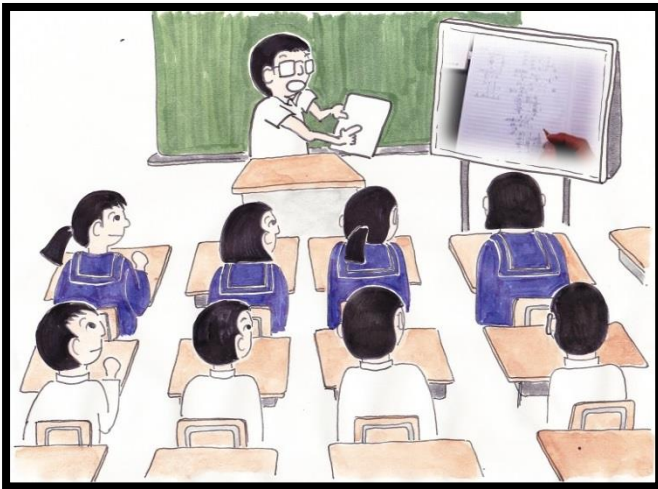
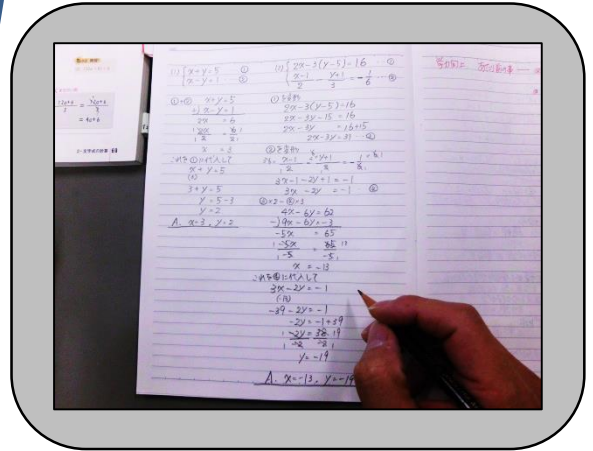
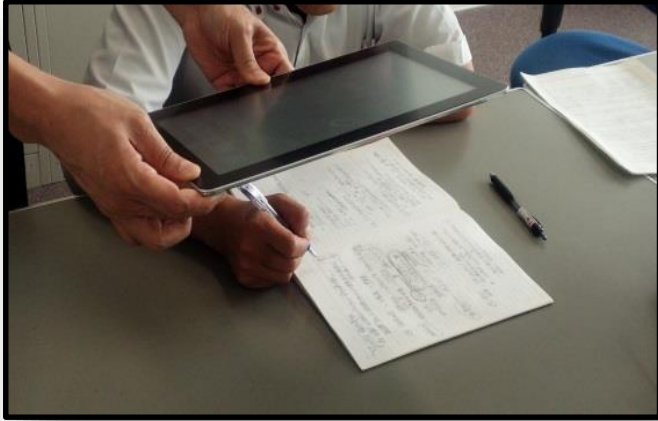


1 撮影した静止画の提示

ノートを撮影して提示



いろいろな計算方法の紹介



児童生徒のノートを撮影し、見せることができます。

準備物：タブレット端末、提示装置（プロジェクタ・デジタルテレビ）

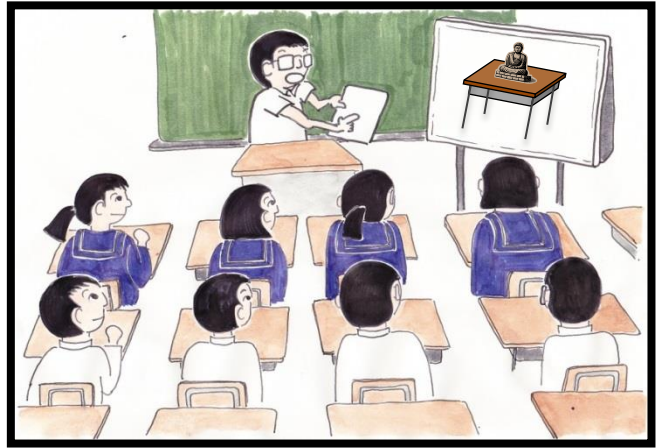
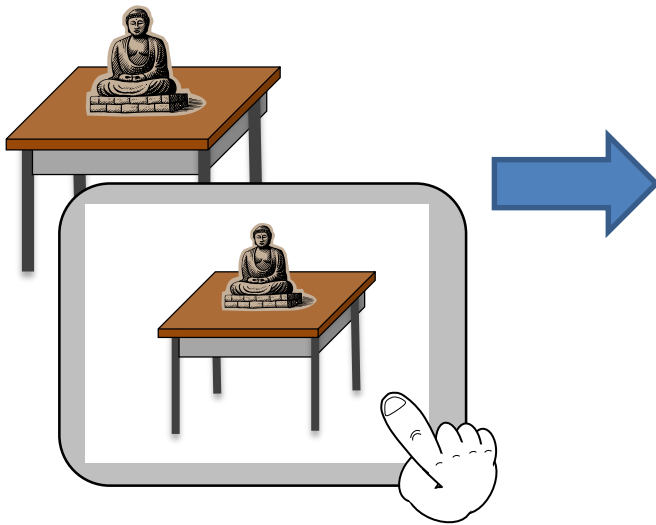
タブレット端末活用のメリット

- ・ 情報を共有したいものをその場で撮影し、拡大提示することが可能になる。
- ・ 撮影した静止画を保存・蓄積することができる。

備考

- ・ 撮影の際にタブレット端末の傾きによって画像の向きが変わります。
- ・ 設定によって撮影場所の位置情報が記録されます。確認の上ご活用ください。

作品を撮影して提示

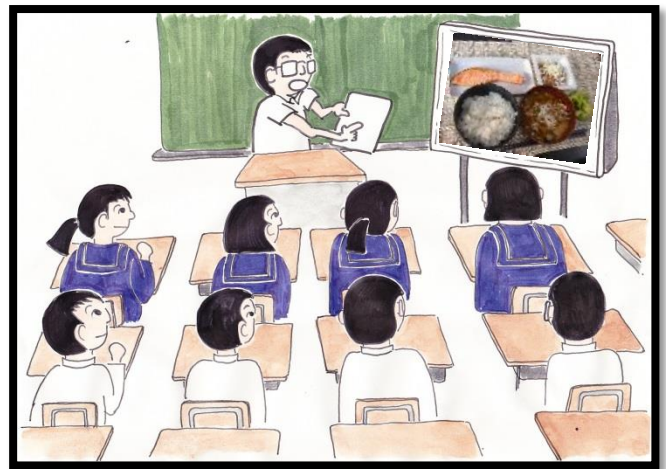


造形作品の紹介

教材を撮影して提示



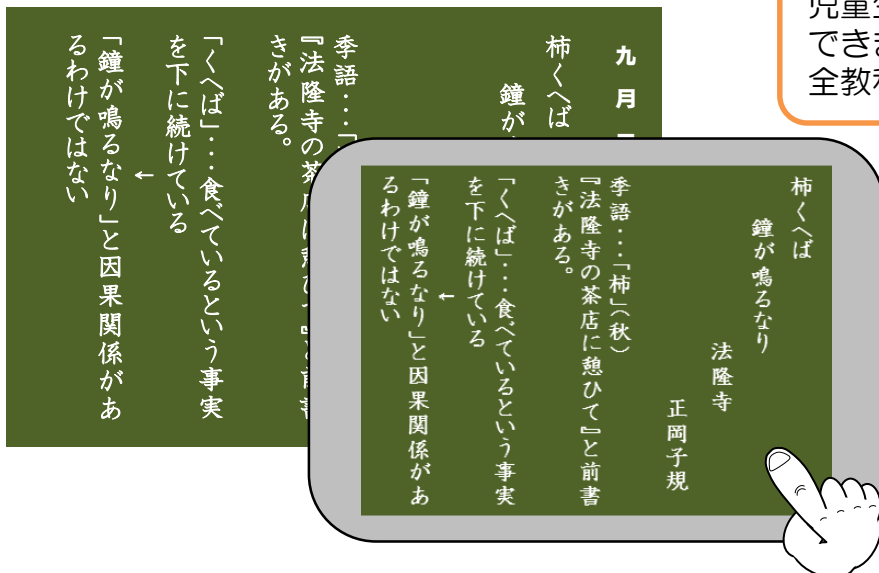
朝食を撮影



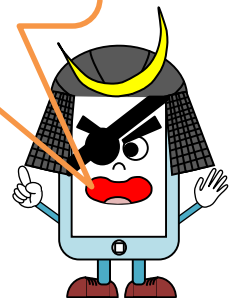
望ましい献立の紹介

あらかじめ静止画を撮影しておくことで、教材として使えます。

板書の記録を提示



児童生徒に後で見せることができます。全教科に活用ができます。

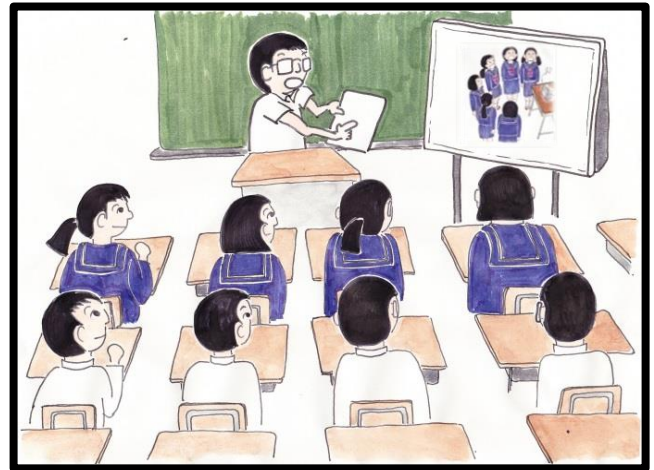


2 撮影した動画の提示

練習の様子を提示



歌唱している時の姿勢、口の開け方、隊形などさまざまな確認ができます。



準備物：タブレット端末、提示装置（プロジェクタ・デジタルテレビ）

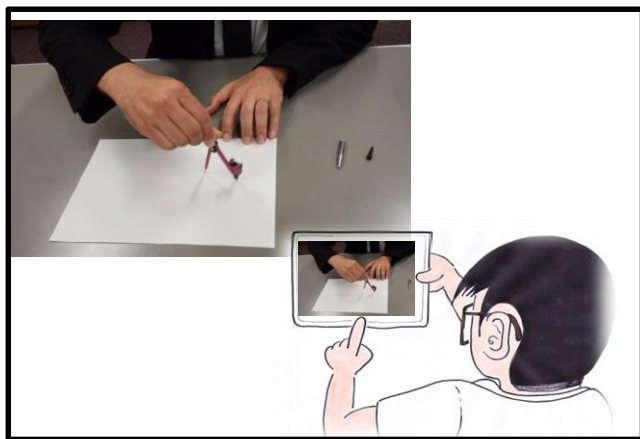
タブレット端末活用のメリット

- ・ 撮影した動画をその場で確認することができる。
- ・ 撮影した動画を保存・蓄積することができる。

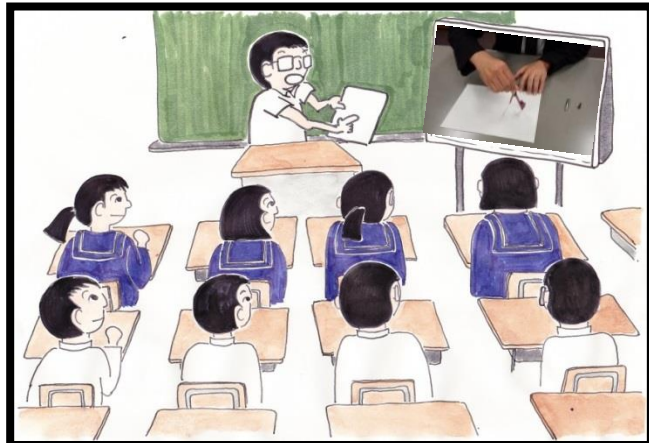
備考

- ・ 児童生徒を撮影する際には、肖像権に配慮してください。
- ・ 設定によって撮影場所の位置情報が記録されます。確認の上ご活用ください。

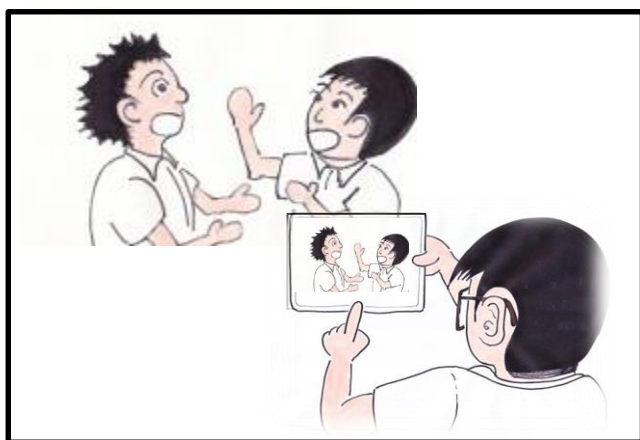
手本となる動画の提示



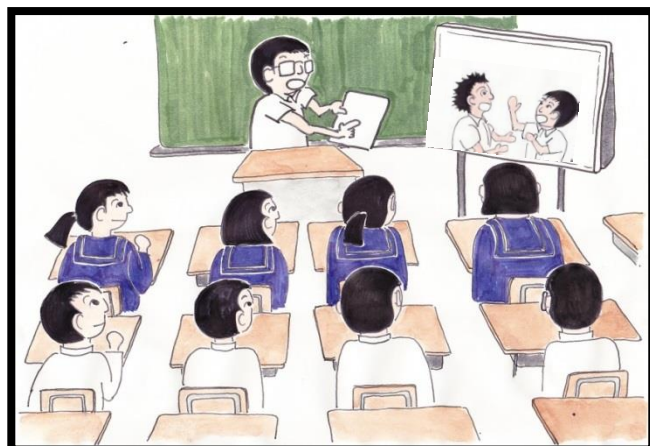
コンパスの使い方



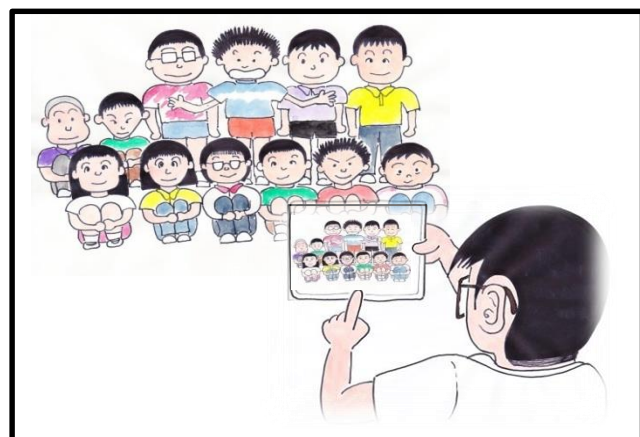
活動の様子を提示 ①



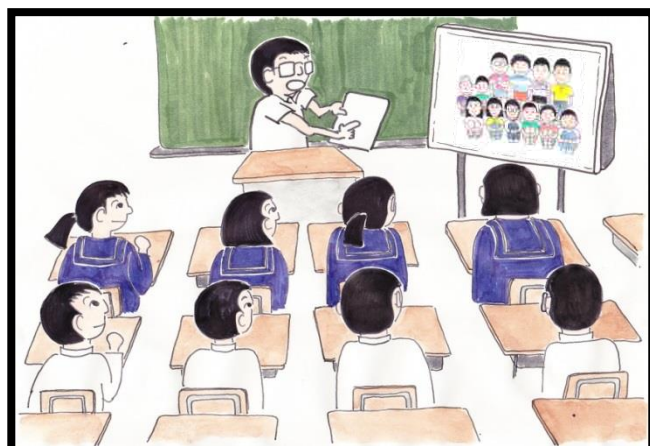
外国語の発音練習の様子



活動の様子を提示 ②

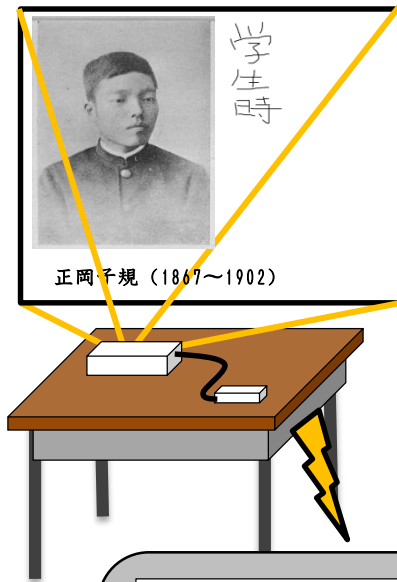


群読の様子

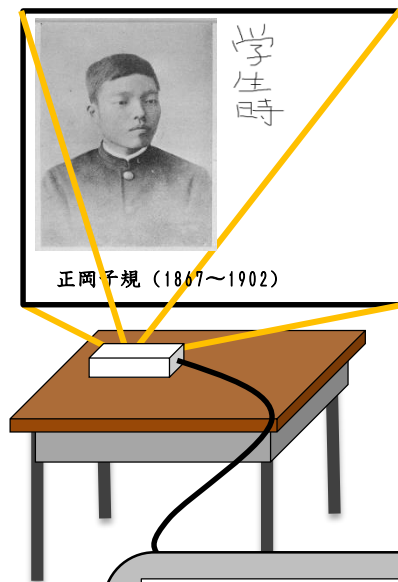


3 資料の提示

静止画資料を拡大提示

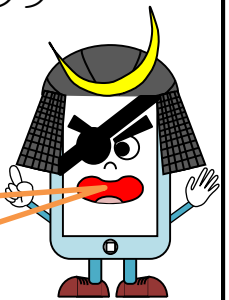


無線でプロジェクタ
を使って提示



有線でプロジェクタ
を使って提示

プロジェクタのほかに、
デジタルテレビへ提示
することもできます。



準備物：タブレット端末、提示装置（プロジェクタ・デジタルテレビ）

タブレット端末活用のメリット

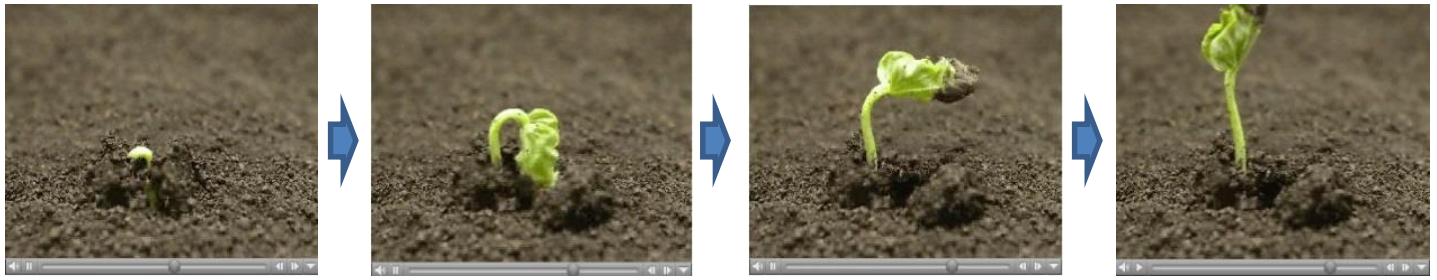
- 資料の準備から編集・加工，保存がタブレット端末1台で可能になる。
- 資料を拡大提示することができる。

備考

- 著作権，肖像権に配慮してください。

動画資料の提示

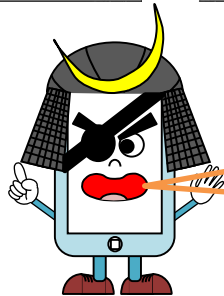
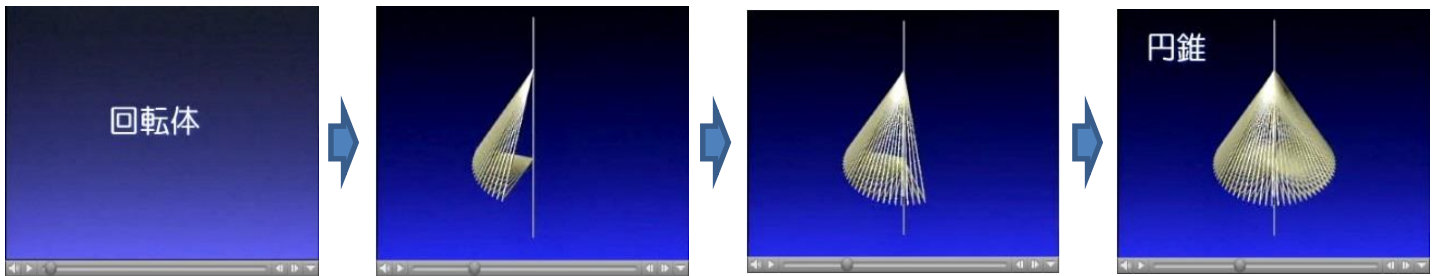
種子の発芽の様子



太陽の動き

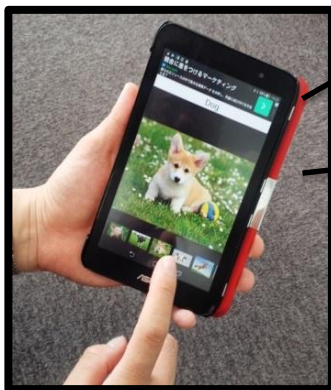


回転体のシミュレーション



画面上にあるスライダを指で操作するだけで、見たい場面を確認することができます。

音源資料の提示



動物の鳴き声

楽器の音

- ・ピアノ
- ・フルート
- ・ホルン
- ・ギター
- ・リコーダー
- etc.

効果音

- ・目覚まし時計
- ・サイレン
- ・チャイム
- ・電話
- ・シャッター音
- etc.

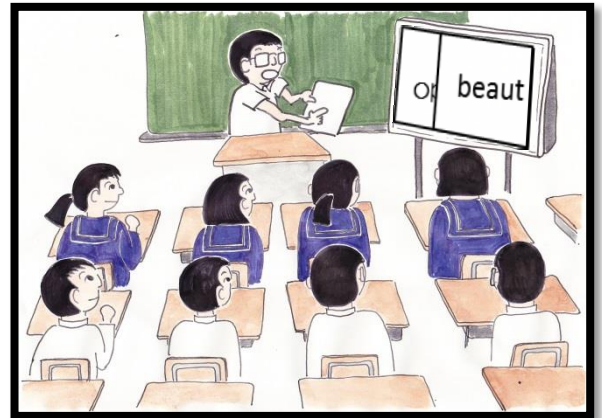
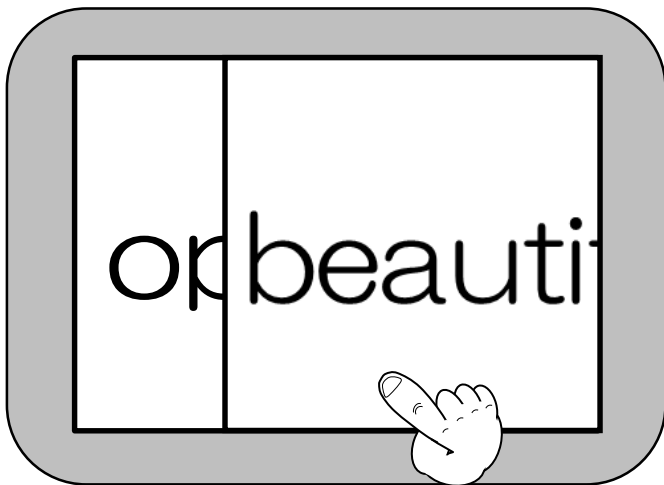


4 フラッシュカード

撮影した写真でフラッシュカードを作成



いろいろな素材を
カードにすることが
できます。



画面を操作し、カードをめくることができます。

準備物：タブレット端末、提示装置（プロジェクタ・デジタルテレビ）

タブレット端末活用のメリット

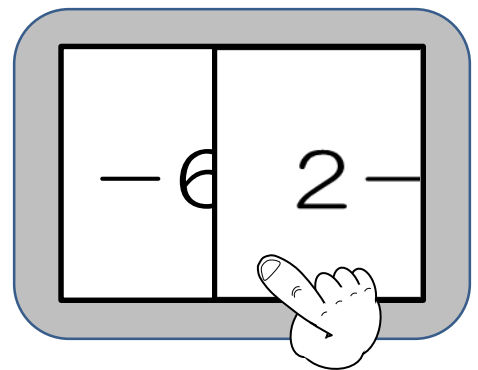
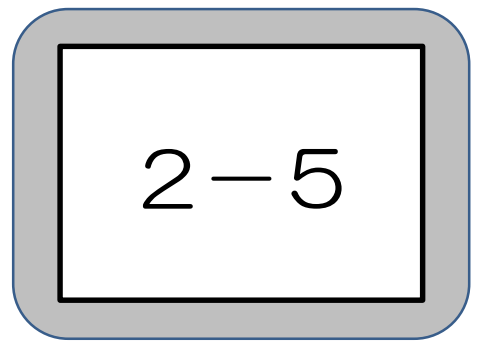
- 画像を保存・蓄積することで、劣化すること無く活用することができる。
- 数種類のカードをデータとしてまとめて保存したり、持ち歩いたりすることができる。

備考

- いろいろなフラッシュ教材を紹介しているWebサイトがあります。
- 著作権に配慮してください。

コンピュータでフラッシュカードを作成

コンピュータで作成した
文書を画像ファイルなど
に変換



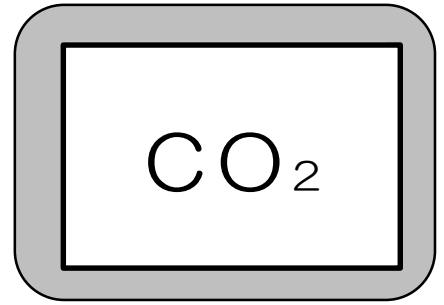
いろいろな学習内容で活用



国旗



歴史



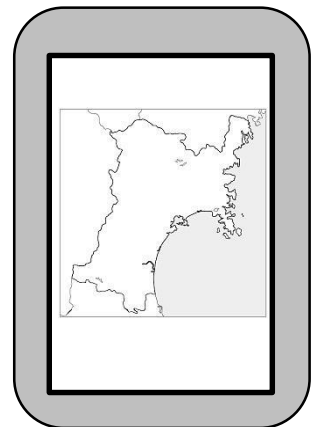
化学式



漢字



四字熟語



県名

5 答えを隠して学習

付箋アプリで答えを隠して提示

2 + 1 = 3
2 + 4 = 6
3 + 4 = 7
6 + 2 = 8

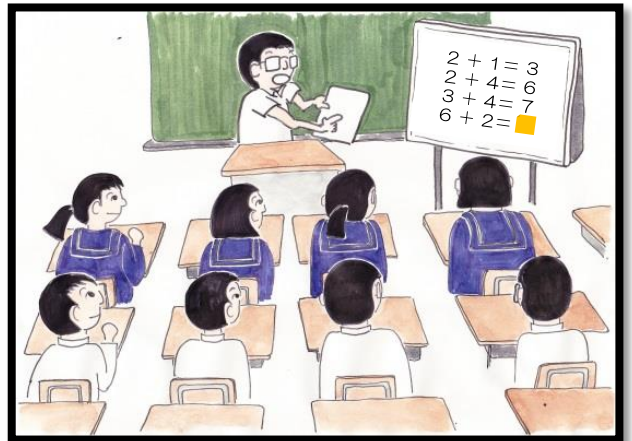
問題を作成します。

2 + 1 =
2 + 4 =
3 + 4 =
6 + 2 =

付箋を貼って答えを隠します。

2 + 1 = 3
2 + 4 =
3 + 4 =
6 + 2 =

触れるとはがせます。



計算のほかにも、漢字の読み方や復習問題など、いろいろな場面で活用できます。

準備物：タブレット端末、提示装置（プロジェクタ・デジタルテレビ）

タブレット端末活用のメリット

- ・ 教材を撮影し、その場で作成することが可能になる。
- ・ 画面に触れるだけで、付箋をはがしたり動かしたりすることができる。

備考

- ・ 文字や画像などを付箋で隠すことができるアプリがあります。

プレゼンテーションソフトで答えを隠して提示

1 - 2 =
2 - 5 =
5 - 9 =



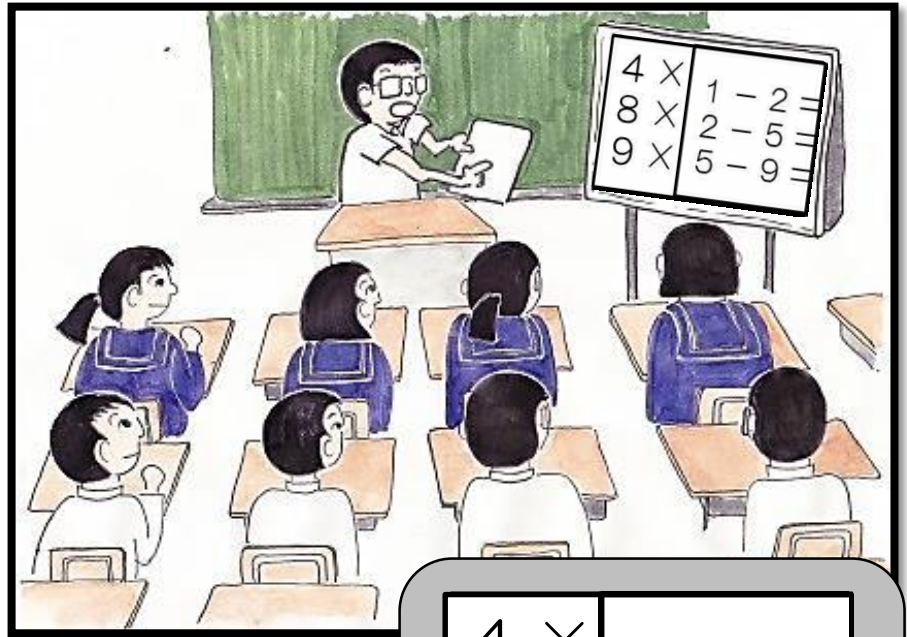
1 - 2 = -1
2 - 5 =
5 - 9 =



1 - 2 = -1
2 - 5 = -3
5 - 9 =

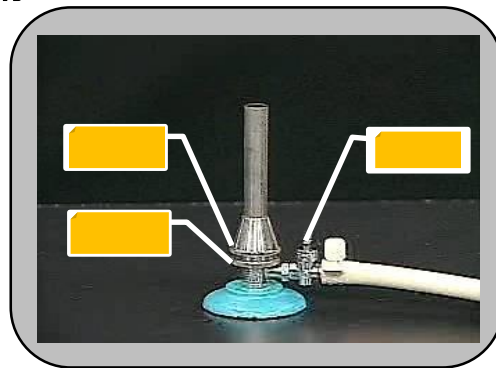
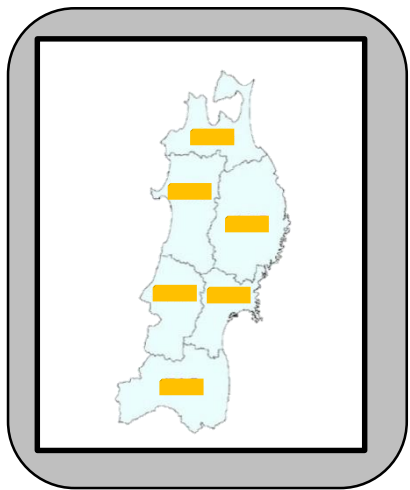


1 - 2 = -1
2 - 5 = -3
5 - 9 = -4



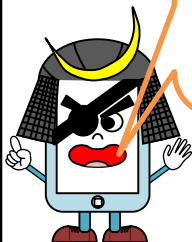
4 × 1 - 2 =
8 × 2 - 5 =
9 × 5 - 9 =

いろいろな学習で活用



作
文 案
人

アイデア次第で
いろいろな問題を
作成することができます。



- 次の文に入る接続詞を答えなさい。
- ① 飛行機で行くか。 _____、新幹線で行くか。
 - ② 彼は政治家としても成果を上げた。 _____、作家としても成果を上げた。

おはよう。 Good _____
こんにちは。 Good _____
こんばんは。 Good _____
おやすみなさい。 Good _____